



議員の決意新たに

真田幸村で町おこし 和歌山県九度山町

真田幸村が人生で一番長く生活した地、九度山町は「真田氏ゆかりの地」として観光資源を掘り起こし、磨き上げてきた。訪問して驚いたのは、バスが到着すると議員全員が玄関で待ち受け、庁舎内に入ると職員は起立し拍手で迎えてくれた。とても感動する体験だった。わが町でも町や役場に来るお客様を歓迎する精神を醸成することが大切と強く感じた。

先進地に学ぶ行政調査(6・25～27)

移住者が町を活性化 和歌山県紀美野町

平成18年から移住定住を政策として開始。平成22年にNPO法人「きみの定住を支援する会」を設立し、平成30年度までに73世帯、142名の移住者が生活している。順調に推移している要因は、SNSで情報を発信し交流人口を増やしていることや、移住定住事業(補助金)が充実している点があげられる。わが町においても、必要な経費は惜しまずかけること。情報、魅力を発信することにより活路が見えると思った。

【記 村岡】



大石田町にも移住者が増えるといいな

より読んでもらえる議会だよりに！ 山形県町村議会広報研修会(5/31)



みんなに読んでほしいなよ～

「第36回町村議会広報研修会」が山形市国際交流プラザ「ビッグウイング」で開催され、広報常任委員が参加した。広報コンサルタントの芳野政明氏を講師に迎え「効果ある『議会だより』の編集」の講演に引き続き、実物の各町村議会広報誌について、事細かくクリニックを受けた。当町の議会だよりはというと、高い評価を受けたものの「町民の声や意見を絡めるとより効果的」などの指摘を受けた。町民に、より読んでもらえる紙面作成に意欲を持つ、有意義な研修会となった。

【記 岡崎】

副町長の任命に同意



横山利一氏(桂木町)を大石田町副町長として任命することに賛成多数(賛成6・反対3)で同意しました。任期は令和元年6月11日から4年間です。

第3回 臨時会 4/19

- 「尾花沢市消防署大石田分署建築用地造成工事請負契約の締結」を全員賛成で可決。
- 「除雪ドーザ(11t級1台)の取得」を全員賛成で可決。ほか。

第4回 臨時会 7/2

- 「小中学校用スクールバスの取得(4台)」を全員賛成で可決。
- 「尾花沢市消防署大石田分署建築工事請負契約の締結」を全員賛成で可決。

事業が消える?!

追跡! あれはどうなった?



南小学校訪問し現地を確認(7/3)

小菅地区から南小学校までの道路は、生活にかかせない道路として、また通学路として、地区民と児童にとって重要な町道だ。地区民の願いがかない、土側溝にU字溝を入れ通学路を整備するため、実施設計の800万円、土側溝にU字溝を入

円の予算が昨年6月議会で議決された「議会だより157号」で報じた。小菅地区民への説明もあり、いよいよ道路の整備が進むと思われる。ところが6月14日町当局から、地域代表者に事業は凍結とし、今はできないとの説明がされた。

町道小菅田沢線 道路改良事業の凍結

町建設課から小菅地区役員への説明では、背後地の雨水排水量が多く、当初計画のものより大きな断面の排水溝にしなければならぬことや、電柱の移転など多額の経費がかかること説明された。地区民からは、雨水があふれないようにすることなど、再度、要望が出された。しかし、今年度は道路整備をしないことを説明された小菅地区役員は納得できないとして、11月に開催される地区臨時総会で、再度説明するよう求めた。

【記 遠藤】

小菅地区民は 納得せず

太陽光発電事業の開発行為に反対を求める請願

継続審査

- 請願者 大石田町の水と緑を守る会代表 早坂泰子
- 紹介議員 小玉 勇
- 請願要旨 「大石田町太陽光発電事業」は、多くの自然環境破壊を引き起こし、農産物や大石田そのものの印象まで一変させる危険性があります。事業着手後の撤退などに至った場合、大石田町の財政基盤そのものを揺るがしかねない深刻なダメージになる恐れがあります。これらの理由で「太陽光発電事業計画」に係る開発行為着手に反対するものです。議会には事業会社に対し、慎重かつ厳重な監督をしていただきたくお願いするものです。